

中国の検索エンジン利用動向調査 (2011年5月)

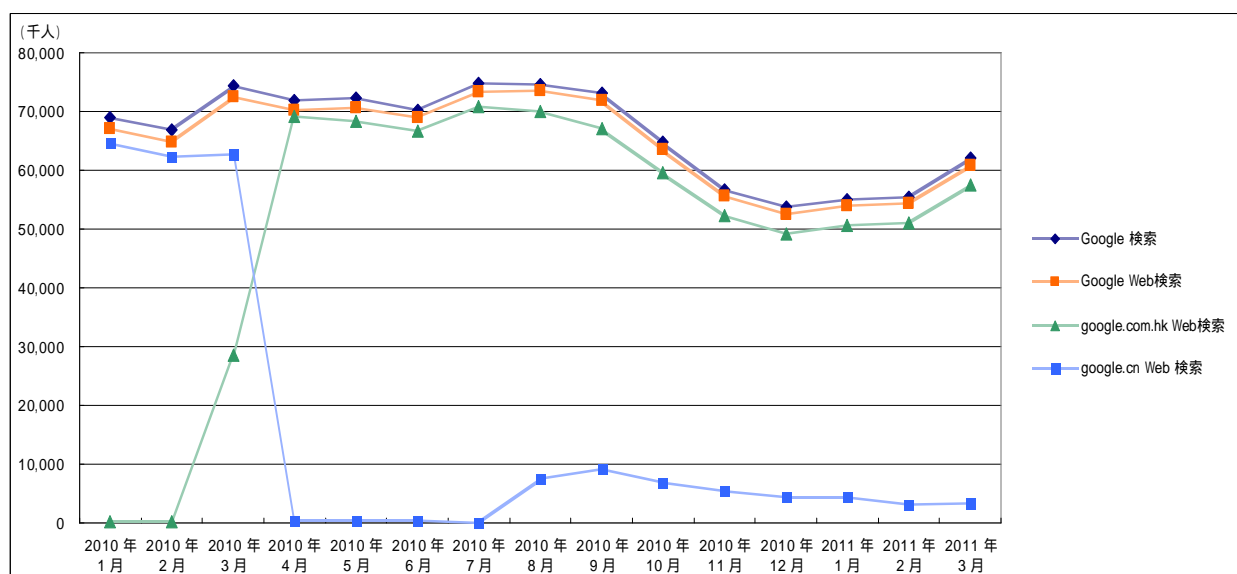
～ Google 撤退後、百度 (Baidu) の利用者数が 20% 増加～

アジア圏を中心に、東京、沖縄、シンガポール、韓国、台湾、香港、タイの7拠点で展開し、戦略的なグローバルマーケティングを提供しているアウンコンサルティング株式会社（東証マザーズ：2459、本社：東京都文京区、代表取締役：信太明）は、このたび、世界43カ国・5つの地域を対象にインターネット視聴率データを提供しているコムスコア・ジャパン株式会社の正規販売代理店として中国の検索エンジン利用動向に関する調査をまとめました。

調査結果

世界最大規模の検索エンジンとして、多くの国で広く普及している Google ですが、中国では政府が要求する Web の検閲などに関して中国政府と Google 間で対立が起きました。2010年3月には Google に対するサイバー攻撃を発端に、Google は中国本土からの撤退を発表し、google.cn (Google China) へのアクセスを自動的に google.com.hk (Google Hong Kong) へリダイレクトする措置をとりました。現在は google.cn はサービスを提供せず、google.com.hk へのリンクが設置されているのみとなっており、自動リダイレクト措置を停止しています。Google が提供する検索サービスのユーザー数を、自動リダイレクト措置を開始した2010年3月と2011年3月で比較すると、ユーザー数が16.6%減少しました。しかし、その内訳を見ると実際に Google が中国撤退を発表した2010年3月に google.cn のユーザー数がほぼゼロまで落ち込んだ一方で、中国本土から google.com.hk へアクセスするユーザー数が大きく伸びています。（図表1）

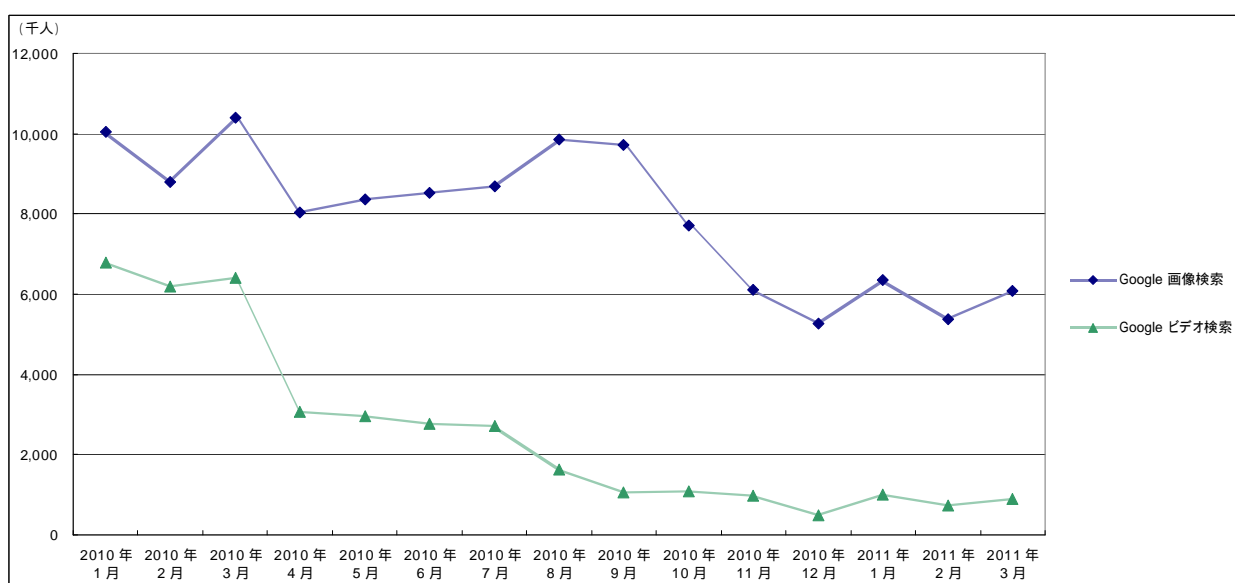
図表1：中国 Google 利用ユニークユーザー数推移



出典：コムスコア / メディアメトリックス (Media Metrix) 2010年1月-2011年3月

自動リダイレクト措置直後、google.com.hkの利用者が大幅に増えたことから、google.cn 利用ユーザーの多くが継続して Google を利用していることが伺えます。また、2011年4月のgoogle.com.hkからの遷移先の約半数が Google 画像検索や Gmail など Google が提供する他のサービスに移動しており、Google が中国本土から撤退後も利用ユーザーから強い支持を受けていることが伺えます。しかし一方、Google ビデオ検索やニュース検索では google.com.hk への自動リダイレクトが開始された影響でユーザーが減少しています。特に Google ビデオ検索に関しては自動リダイレクトが開始された2010年3月の翌月から大きくユーザー数が低下しており、2010年3月から4月にかけてユーザー数が約半数まで落ち込んでいます。これは、断続的で不安定な中国本土から google.com.hk への接続状況によって、YouTube などのオンライン動画サービスの視聴が難しくなったことが要因として考えられます。(図表2)

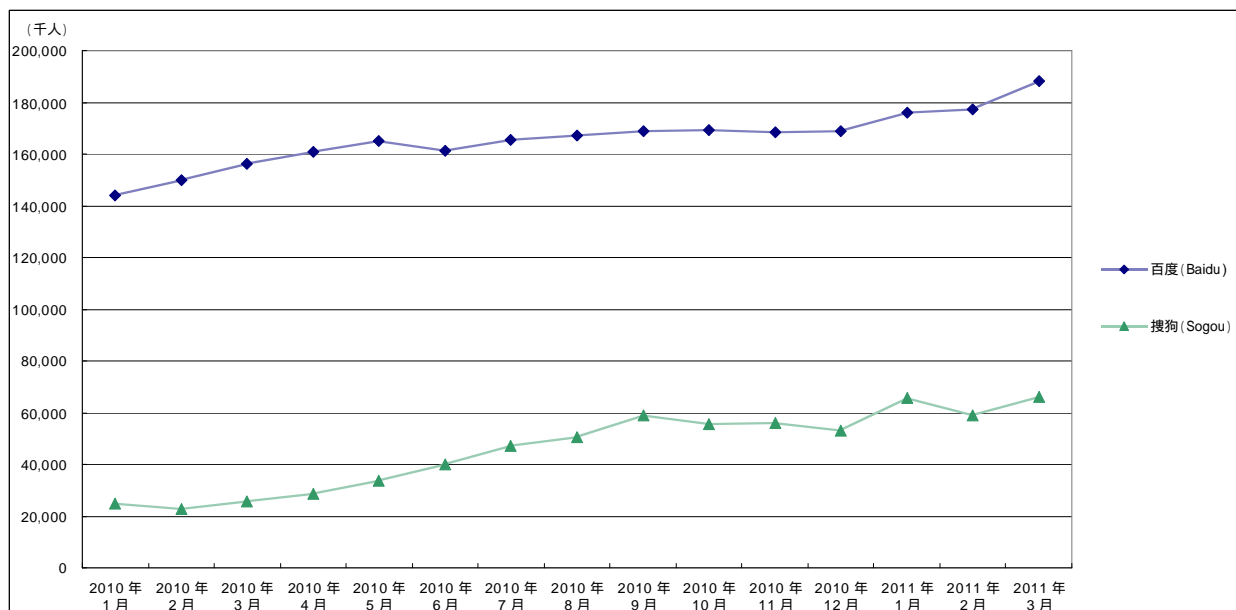
図表2：中国 Google 各種検索サービスユニークユーザー数推移



出典：コムスコア /メディアメトリックス (Media Metrix) 2010年1月-2011年3月

Google が中国において苦戦を強いられている状況が続く中、中国資本の検索エンジンは着実にシェアを伸ばしています。Google 撤退以前より中国最大の検索エンジンである百度 (Baidu) は、ユーザー数をさらに増やしており、2010年3月から2011年3月にかけてユーザー数が約20%増加しています。同様に中国大手ポータルサイト搜狐 (Sohu) が運営する検索エンジン搜狗 (Sogou) も Google の後を狙い、順調にユーザー数を伸ばしており、2010年3月から2011年3月にかけてユーザー数を約2.5倍に増加させています。(図表3) なお、搜狗を運営する搜狐は、2010年8月に中国最大のECサイトを運営するアリババ・グループと検索事業での提携を発表しており、この2社が今後更なるシェア拡大に向けて攻勢をかけてくる事が予想されます。

図表3：中国 中国資本検索エンジンユニークユーザー数推移



出典：コムスコア / メディアメトリックス (Media Metrix) 2010年1月-2011年3月

このように中国資本の検索エンジンが虎視眈々と Google のシェアを狙っている中、Google が中国で置かれている状況はさらに悪化しています。2011年3月には、中国大手ポータルサイトの一つとして挙げられる新浪 (Sina) が Google との提携を解消し、Google の検索技術利用の停止を発表しました。また、中国では新たにオンライン地図サービスの運営に政府の許可が必要となり、Google は中国政府に対して運営許可の申請を未だ行っておらず、申請の期日である2011年7月以降は中国で Google マップが利用できなくなる可能性もあります。コムスコア社のメディアメトリックスでは、時系列で対象サイトのデータを測定しており、各事象が複数月にわたってどのような影響をサイトに対してもたらしているかを可視化することが可能となっております。今後とも Google にとって厳しい状況が続くと推察される中国の検索エンジン業界に関して、その動向を追っていくことが肝要となります。

調査主旨及び要綱

【調査主旨】

中国の検索エンジン利用動向を調査

【調査要綱】

- ・ データソース：コムスコア社が提供するネット視聴率データ、メディアメトリックス(中国データ)
- ・ 調査方法：コムスコア社が保有する調査対象パネルのインターネット使用データを基とした統計予測
- ・ 調査期間：2011年3月度集計

<検索サービス定義>

本調査において検索サービスをインターネット上の情報を総合的に提供している検索サービス及び特定情報(ニュース・動画)に限定した検索サービスと定義します。

アウンコンサルティング株式会社

[事業内容] アジア圏を中心としたグローバルマーケティング支援(多言語の Web 制作・メディア運営・販促支援・翻訳)

[設立年月日] 1998 年 6 月 8 日 [本社所在地] 東京都文京区後楽 1-1-7 グラスシティ後楽 2F

[代表者] 代表取締役 信太明 [資本金] 339,576 千円 [会社 URL] <http://www.auncon.co.jp>

[プレスリリースに関するお問合せ] 広報担当 宮本 / TEL:03-5803-2459 MAIL: pr@ auncon.co.jp

[調査に関するお問合せ] 担当 古川 / TEL:03-5803-2777 MAIL: research@ auncon.co.jp